

2020年1月 (No.367)

## 主な内容とページ

製造装置と材料が成長けん引、わが国半導体産業 .....	1
電子機器市場、世界の成長と日本の衰退 .....	2
めざめる電機産業 .....	4
半導体は日系電子機器と同一傾向 .....	4
半導体製品に迫る装置、材料の輸出額、 .....	8
米国から締め出された中国企業のねらう市場 .....	9
中国市場の開拓に動く外資のねらい .....	9
対面交渉もネット利用(SRL だより).....	11

## 製造装置と材料が成長けん引、わが国半導体産業

電機産業は、事業改革を進め、筋肉質の体づくりに動く。半導体産業も変貌する。

1. わが国エレクトロニクス産業は、過去 20 年以上におよぶ衰退を経て事業改革が本格化。規模(売上)ではなく、利益や今後の収益確保、それによる企業価値の確保に重点が移ってきた。
2. 半導体は、エレクトロニクス産業の安定化で衰退に歯止めが期待され、さらに車載、産業機器など新分野の成果が新たな成長機会をもたらしている。
3. わが国半導体産業は、成長力と事業規模から製造装置および材料が成長のけん引役となる傾向が強まり、これら強みを発揮した役割の増大、世界活動の強化が進められよう。

## 対面交渉もネット利用

『1990年代から始まったIT(情報技術)革命は情報の移動コストを引き下げた。さらに現在は対面交渉コストを削減する方向に技術革新は進んでいる(略)』(渡辺真理子学習院大学教授、日経新聞19年11月15日付け経済教室から)。中国でアリババがネットと実店舗とを決済巧みに組み合わせている例などを紹介している。

ネット利用の進化は止まらない。旅行、保険からスマホなどデジタル機器の選択、購入はネットが盛んに使われている。半導体でも「セールスマンには会わない」で、ネット利用で調達する例が海外ではあるとか。画像処理の進歩は、立体的な計測を実現、そして微妙な色彩の変化を仮想現実、これを衣類や家具の販売に役立てる方法も進んでいる。

過心は禁物としても、ネットが新たな商売を生み出しそうな気がしている。テスラはネット受注が主体、高級オーディオのBOSEは実店舗を閉鎖、ネットに切り替えるとか。アマゾンはいンドの中小企業向けに1,100億円投じて自社の世界ネットで販売を支援する。時代の流れを感じる。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報をSRLの解釈と分析で表現したものです。

2020年 著作権所有 SRL

### SRL Monthly Report

2020年1月(毎月1回発行)第31巻1号(通巻367号)

発行元:株式会社SRL

〒188-0014 東京都西東京市芝久保町3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

### SRL Monthly Report

January 2020, No.367

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014

Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2020

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)